

やまがた社会共創プラットフォーム令和6年度事業計画書
(事業計画期間：令和6年4月～令和7年3月)

令和6年3月7日	戦略会議	承認
令和6年3月14日	役員会	承認
令和6年3月27日	協議会	承認

【令和6年度事業計画】

令和5年度の事業報告書の内容を踏まえて、以下のとおり、令和6年度の事業を実施する。

なお、実施事業に含まれていない基本方針及び重点項目については、引き続き対応について検討するとともに、既に実施している加盟機関の事業へ協力する形で実施する。

○継続事業

①地域課題解決のための調査・マッチング

(定期的に事務局が加盟機関を訪問し、意見交換。)

[概要]

地域課題の解決に向けて、加盟機関からのニーズに基づき、様々な立場・角度から調査や深堀りを行うとともに、関係する機関をつなぐことで解決に向けた話し合う場を提供する。

[実施主体]

事務局 (山形大学)

②やまがた進学大交流フェスタ (重点事項②)

[概要]

県内高校生の県内高等教育機関進学率向上や県内大学生の地元定着率向上を目指し、県内高等教育機関による合同説明会だけでなく、地元で働く卒業生との交流の機会を持ち、県内高等教育機関に進学した後も、県内企業に安定的な就職が可能なことを高校生及び保護者に説明するもの。実施時期、場所、方法等については、令和5年度の実施結果を踏まえて検討を行う。

[実施主体]

大学コンソーシアムやまがた

(やまがた社会共創プラットフォーム高等教育機関連携部門)

[加盟機関]

大学コンソーシアム山形加盟機関 (羽陽学園短期大学／鶴岡工業高等専門学校／電動モビリティシステム専門職大学／東北芸術工科大学／東北公益文科大学／東

北文教大学／放送大学山形学習センター／産業技術短期大学校／産業技術短期大学校庄内校／農林大学校／保健医療大学／米沢栄養大学／米沢女子短期大学／山形工科短期大学校／山形県／山形大学)

③大学等進学説明会（重点事項②）

[概要]

大学コンソーシアムやまがたの事業として行われているもので、県内の大学・短大等への進学率アップを目指し、高校からの要望に応じて、大学等の説明や模擬授業等を行うもの。

高校1・2年生に対しては、人生設計を視野に入れた大学・学部選択への手がかかりになるよう、また、大学進学・就職等を志す高校3年生に対しては、大学・短大等で学習する内容を実際に体験することにより、よりよい進路選択の参考にしていただけるように各高校に訪問し説明会を開催。

[実施主体]

大学コンソーシアムやまがた
(やまがた社会共創プラットフォーム高等教育機関連携部門)

④社会共創ワークショップ（基本方針③）

[概要]

地域課題の発掘・解決、加盟機関間のネットワーク構築を目的に加盟機関が参加するワークショップを開催するもの。

[実施主体]

事務局（山形大学）

⑤やまがた夜話（基本方針①・②）

[概要]

大学コンソーシアムやまがたの事業として行われているもので、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマにそれぞれの得意分野で活躍している第一人者の目線で皆さまにわかりやすく講演いただく事業。

[実施主体]

大学コンソーシアムやまがた
(やまがた社会共創プラットフォーム高等教育機関連携部門)

⑥学生による地域貢献・活性化プロジェクト（①・②・③）

[概要]

大学コンソーシアムやまがたの事業として行われているもので、「大学コンソ

ーシウムやまがた」加盟機関の学生により構成されている団体が、山形県内において地域貢献及び活性化につながる活動を行うプロジェクトについて、その活動を支援するもの。

[実施主体]

大学コンソーシアムやまがた

(やまがた社会共創プラットフォーム高等教育機関連携部門)

○新規事業

①山形県内企業等を対象としたリカレント教育事業（基本方針①）

[概要]

文部科学省から事務局の山形大学が採択を受けた『令和4年度補正予算文部科学省事業「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」』において、令和5年度に実施したアンケート調査結果等を踏まえ、山形県内企業等を対象としたリカレント教育プログラムを企画、提供するもの。

また、上記採択機関を主な対象として令和5年度に公募があった文部科学省事業についても山形大学が申請を行っており、採択を受けた場合の事業内容は以下のとおり。

- ①企業等の観点から、受講の有用性等に関する評価方法を策定する
- ②評価結果に基づきプログラムを改善し、評価方法も適宜見直す
- ③企業側のリカレント教育に関する取組状況をプラットフォーム内に共有する
- ④地域におけるリカレント教育の受講促進に向けた企業側の環境整備に関する指針等を明示する
- ⑤大学側における当該指針等に対応した取組を推進する
- ⑥大学等の協力を得た経営者向けプログラムを開発する
- ⑦地域企業の経営者を集めてプログラムを実施する
- ⑧プラットフォームにおける上記取組成果を普及啓発する

[実施主体]

企画、検討：やまがた社会共創プラットフォームリカレント教育推進部門

教育プログラムの提供：構築した機関（令和6年度は、やまぷらリカレント教育として、『やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム』を山形大学が実施予定）

文部科学省事業にかかる業務：山形大学

②カーボンニュートラル人材育成事業（基本方針①・④）

[概要]

山形大学と飯豊町が共同構築した地域の温室効果ガス排出量を可視化する「やまがたモデル」に関して、山形県の各自治体でカーボンニュートラルに取り組んでいる職員を主な対象者として、所属自治体における温室効果ガスの排出量を既存

の資料を基に算出し、所属自治体における温室効果ガスの実際の排出量を把握することのできる人材を育成するもの。

[実施主体]

事務局（山形大学）

③「大学コンソーシアムやまがた」共同教育事業（基本方針①・②・③）

[概要]

大学コンソーシアムやまがた加盟機関による、地域課題の解決に貢献しうる人材育成のための共同教育事業。令和6年度は令和7年度からの本格実施に向けてのニーズ調査と教育コンテンツのリスト作成等を行う。

[実施主体]

大学コンソーシアムやまがた

（やまがた社会共創プラットフォーム高等教育機関連携部門）

④地域貢献・活性化事業（基本方針①・②・③・④）

[概要]

大学コンソーシアムやまがた加盟機関による、やまぷら初期戦略に貢献する事業。期間内で山形県内において地域貢献及び活性化につながる活動を行う教職員等のプロジェクトを公募し、その活動を支援するもの。

[実施主体]

大学コンソーシアムやまがた

（やまがた社会共創プラットフォーム高等教育機関連携部門）

○協力事業

現時点では未定。各機関・団体等で実施する事業において、やまぷら加盟機関の協力を必要とする際の協力依頼から、協力決定までの流れを整理し、やまぷらの枠組みを活用していただき、多くの協力事業を行っていく。

(以下、参考)

【やまがた社会共創プラットフォーム基本方針】

- ①様々な立場・角度から地域課題を深掘りし、ニーズオリエンテッドの教育・研究・社会連携を追求する。
- ②地域の貴重なリソース（資源）・優れた連携実績を収集整理・データ化・視覚化し、共有・活用する。
- ③様々な機関が出会い、課題（ニーズ）と解決のための各種資源をマッチングする場となる。
- ④課題解決のための事業化の企画・実装の支援・先導をする。

【やまがた社会共創プラットフォーム重点事項】

- ①山形県内大学生の地元定着率向上（Uターン学生含む）
- ②山形県内高等学校からの県内大学進学率向上
- ③女性の活躍・地域定着

【やまがた社会共創プラットフォーム令和5年度の事業計画一覧】

1. 地元定着に関する加盟機関の取組を一覧にしたポータルサイト構築
2. 山形県内高等教育機関卒業生へのタイムリーな情報発信の仕組み検討（Uターン促進）
3. やまがた進学大交流フェスタ開催
4. 山形の魅力再発見の座談会開催
5. 初等中等教育機関との連携の取組の可視化・連携強化
6. 大学コンソーシアムやまがたの取組の周知
7. 女性の活躍・地域定着を身近に感じてもらうための取組
8. 女性の活躍、キャリアアップ等に向けたニーズ調査の実施
9. 女性の活躍・地域定着に関する取組の情報収集・提供
10. 地域課題解決のための調査・マッチング
11. リカレント教育のニーズ調査・分析
12. 社会共創ワークショップ開催
13. 加盟機関の連携情報収集・WEBサイトの充実
14. 新聞誌上座談会開催
15. 学生プロジェクトチームの立ち上げ検討

<添付資料>

やまがた社会共創プラットフォーム ロードマップ
令和6年度事業計画ロードマップ